

学区別意見交換会

令和2年（2020年）5月21日（木）13:30～14:30 下田まちづくりセンター

出席者：区長 9名、まちづくり協議会役員 3名

市：谷畑市長、萩原副市長、谷口教育長、関係課職員

1. 市長あいさつ

新型コロナウイルス感染症の対応の経緯や現在の状況について。

副市長あいさつ

教育長あいさつ

2. 自己紹介

3. コロナウイルス対策の説明

- ・ 湖南省新型コロナウイルス感染症基本的対応方針第7版抜粋による説明。
- ・ 新しい生活様式

4. コロナウイルスに関する意見交換会（地域での困りごと等）

区長：家庭ごみが多く出ている。非常時のごみ処理問題を今後の課題として取り組んでほしい。

市長：ステイホームのため、家庭にいる時間が長くなったため。事業所ごみとの調整ができるか検討したい。

区長：感染防止の徹底として届いたタウンメールの市長メッセージを地域に回覧等で周知した。タウンメール以外にもFAX等での対応もお願いしたい。

区費徴収では支払い拒否などあり、大変苦勞をした。これからも同様のことが起こってくるのではないかと心配している。8月の夏まつりなど地域のイベントを開催するときの条件や判断基準はあるか。

市長：タウンメール以外に6月広報に掲載する、特別定額給付金については早急に対応できるよう取り組んでいる。自治会の存在意義がコロナで壊れかけているとお聞きする。

市の夏まつりは中止とした。地域によっては市の夏まつりに準じているとの答

えが多い。

自肅要請は市ではなく県単位となるが、具体的に地域が基準に困っている旨を伝えます。基準を設けることは難しく、最終的には主催者判断になるかと思う。

区長：新しい区長が多く、組長会すらできていない区が多い。今月から再開しなければいけないと考えているが何もわからない中で行っている。自肅の中、市が2班体制で勤務をしている間に提出期限がきたものについて日にち指定をされた。効率よく、印鑑のあり方についても検討いただきたい。

県内一斉の河川清掃、高齢化し業者にお金を支払い頼んでいる地域もある。補助では賄えないため、一度全体的に考えていかなければならない問題だと思う。検討していただきたい。

市長：書類提出の件について、申し訳ございません。特例を設けよと市から県や国にさせていただいている中、市の中でそのようなやり方があったことは恥ずかしいこと、正させていただきます。

印鑑については、国が義務づけている部分は仕方ないが、独自のものについては時間をいただき検討したい。

河川愛護は県管理にはなるが、高齢化している地域があるなど課題があることは何度も県知事に話をしている。引き続き強く要請しながら県全体として検討していただく。

区長：河川の法面だけきれいになっても川底に汚泥が溜まっているので意味がない。カードレールの草などあり、美化活動になっていない。県に対応を望む。

市長：県へ強く要望します。

区長：事業者としてお願いがある。商工会を通じて支援があると聞いているが、売り上げが激減している事業主に対しての支援など他市の状況も踏まえて助成などお願いしたい。

水道料金は一般家庭のみ、事業所へも基本料金だけでも支援をお願いしたい。雇用調整助成金について、社労士等をお願いすることになるが費用もかかるため懸念する事業所もあるだろう。

少しでも援助があればありがたい。市長はじめ三役の期末手当の全額返納もすごいこと。

市長：現在は商工会会員となっているが、6月補正で広げていく考えである。売り上げ減については国と県で対応する内容となってくる。財源がない中で実施していることをご理解いただきたい。

企業への水道基本料金については、水道事業会計の現状を確認したうえで検討したい。

雇用調整助成金の手続きについては煩雑かつ資料が多く、条件等も変わり社労士が回っていないと聞いている。社労士による指導の場など商工会へ委託し行う予定である。

区長：講習会よりは、社労士へ支払う報酬に対して助成していただくほうがよい。やり方がわからず諦める事業所もあると思うので、気持ち程度でも示していただけるとありがたい。

まち協：6月から学校が始まる。通学から教室でも3密になる状況が起こり得る。

PTAの会合もできていないと聞く。地域の関係する団体がサポートしつつ取り組みたいが、学校でもお願いしたい。休校中の子どもの家庭学習が広がっているが、パソコン支給など今後の2波、3波に対してどのように進めていくのか。国・県・市の支援体制、独自の支援体制が新聞に載っているが、HPや回覧等で周知してほしい。

2月以降のまち協の事業を中止してきた。再開に向けて個々に選択しながら進めていきたい。

泥りんピック500～600人が集まるため中止が決定した。秋以降の行事も市や学校行事の動向と合わせて検討したい。

教育長：3月から休校になっているが、4月以降の休校は顔も覚えていない人が新しく担任となり、進級したクラスに馴染みがなく、子どもたちも不安が大きい。6月1週目は子どもの心のケアをしつつ給食なしで午前中のみ行い、2週目以降から通常授業とする。

PTAとも連絡を密にしながら行っていきたい。

ピンチをチャンスに変える発想で取り組んでいきたい。

2波、3波が来た時に家庭での勉強が主体となる可能性がある。文科省がGIGAスクール構想として、1人1台パソコンで課題を行う考えがあり、うまく進めていければと思う。

6月から子どもたちが登校する姿に元気をもらえとの声もいただく。子どもたちも不安を抱えているため、協力をお願いしたい。

市長：学校が再開するが地域の見守りにご協力をお願いしたい。一人1台パソコンの調達など県と合わせて対応していく。今年度後半から県で一斉の調達が始まり、開始は来年度となる予定です。市の独自政策については6月補正でも考えている。